opusdei.org

黙想の祈り:洗礼者 聖ヨハネの誕生(6月 24日)

黙想のテーマ:「神は一人ひとりを使命のために選ぶ」 「イエスの道を準備する」 「使徒職における謙遜」

2024/06/23

神は一人ひとりを使命のために選ぶ

イエスの道を準備する

使徒職における謙遜

教会は通常、聖人が天に召された日 を記念日としています。キリスト教 の初期の時代には、それはしばしば 聖人の殉教の日と一致していまし た。しかし、洗礼者聖ヨハネの祭日 は、教会の最初の世紀から独特でし た。洗礼者聖ヨハネの誕生が、イエ スの誕生の6ヶ月前に祝われていま す。教会は聖書を通じて、洗礼者聖 ヨハネは、母の胎内にいるときから 聖霊に満たされていたと伝えていま す(ルカ1・15参照)。これは、私た ちの主を胎内に宿していたマリア が、いとこのエリサベトを訪ねた時 のことです。

今日の福音書には、洗礼者聖ヨハネの誕生と命名について記されていますが、この出来事は、私たちをそれに先立つ神の計画について考えるように招いています。「主は母の胎にあるわたしを呼び、母の腹にあるわ

たしの名を呼ばれた」 (イザヤ49・ 1)。預言者イザヤのこの言葉は、 人間存在の最も深い現実の一つを表 しています。私たちは偶然にこの地 上に現れたのではなく、無名でほと んど価値をもたない単なる種の一個 体でもありません。私たちがこの世 に生を受けたのは、神からの呼びか けであり、幸せと使命を約束する選 びなのです。神は、私たちをあるが ままの姿で、それぞれの特別な特徴 をもって創造されました。神は私た ち一人ひとりの名を呼び、私たちが 唯一無二の存在であることを望まれ ました。詩編の作者は叫びます。 「あなたは、わたしの内臓を造り、 母の胎内にわたしを組み立ててくだ さった。わたしはあなたに感謝をさ さげる。わたしは恐ろしい力によっ て、驚くべきものに造り上げられて いる」(詩編139・13-14)。

「神はあなたに何かを期待しておられます。神はあなたに何かを望んで

おられます。神はあなたに希望を抱 いておられます。神はあなたが夢を 見るように励ましておられます。神 は、あなたと一緒なら、世界は違っ たものになりうるということを、あ なたに示したいのです。あなたが自 分自身の最善を尽くさなければ、世 界は決して変わらないでしょう。こ れはチャレンジです | m。 聖ホセマ リアは言っています。私たちの人生 に意味を与える神からの光を受ける には「愛する心を持たねばなりませ ん。自分で自分を救うことはできな いことを謙遜に認め、ペトロと共に 『主よ、誰のところに行きましょう か。あなたは永遠の言葉を有してお られます。私たちは、あなたが神の 子キリストであることを信じ、認め てきました』と言わなければならな いのです。もし、このようにできる ならば、そして神の呼びかけを心か ら受け入れることができるならば、 決して闇を歩くことはないのだと確 信をもって言い切ることができるの

です。あたかも嵐が荒れ狂うはるか上空に太陽がと輝いているように、自己の惨めさや欠点を超えて、神の光が頭上高く輝いているからなのです」[2]。

「幼子よ、お前はいと高き方の預言 者と呼ばれる。主に先立っていき、 その道を整え(る)」(ルカ1・ **76**)。福音朗読の前のアレルヤ唱の 中で私たちが繰り返すザカリアのこ の言葉は、召命と使命、呼ばれるこ とと送り出されることの、切り離せ ない結びつきを示しています。とい うのも、ヨハネの召命の偉大さは、 彼の使命の比類なき重要性にあるか らです。「キリストが人間以上の存 在であることを証しするために、最 も偉大な者が遣わされたしょと聖ア ウグスティヌスは述べています。そ して、オリゲネスは、今日まで続く

洗礼者ヨハネの召命の、もう一つの 側面を付け加えています。「ヨハネ の神秘は、今日に至るまでこの世で 成し遂げられています。キリストを 信じる人は誰でも、まず各自の魂に ヨハネの霊と力を迎えます。『準備 のできた民を主のために用意する (ルカ1・17)。そして『曲がった道 はまっすぐに、でこぼこの道は平ら にな(る)』(ルカ3・5)。ヨハネ の霊と力は、主のために完全な民を 準備し、荒れた心に諸々の平坦な道 を敷き、諸々の小道を整えるので す。あの当時だけ、諸々の道と小道 が整えられたのではありません。今 日に至るまで、ヨハネの霊と力は、 主なる救い主の到来に先立っている のですしる。

すべてのキリスト信者は、人々を、 キリストとの出会いに向けて準備 し、洗礼者ヨハネの使命を引き継ぐ ようにと呼ばれているのです。聖ホ セマリアは書いています。「なんと

清らかで、なんと高貴で、なんと無 私無欲なのでしょう。彼は真に主の ために道を整えました。弟子たちは うわさによってのみキリストを知っ ていました。彼は弟子たちに、師と の対話を勧めました。神をよく見つ め、神を知るように促し、キリスト が行っておられる奇跡を称賛する機 会を彼らに与えました| ��。 洗礼者 聖ヨハネの生涯は、彼が説いた悔い 改めのメッセージにふさわしく、節 度があり、悔悛に満ちていました。 彼の説教は、神の真理を大胆に告げ るものであり、彼は死に至るまでそ れを証し続けました。私たちも同様 に、自分の生活が展開する場所で、 キリストを伝えるように招かれてい ます。したがって、聖ヨハネや彼の 弟子たちのように、私たちもイエス に目を向け、イエスの命に満たされ て、私たちの傍にいる人たちにも、 同じようにするように招くことがで きるでしょう。

ヨハネがその生涯を終えようとした とき、彼は言いました。「わたしを 何者だと思っているのか。わたし は、あなたたちが期待しているよう な者ではない。その方はわたしの後 から来られるが、わたしはその足の 履物をお脱がせする値うちもない | (使徒言行録13·25)。洗礼者聖日 ハネは、謙遜と高潔な意志の模範で す。彼は決して自分の光で輝こうと せず、自分自身を宣伝し、自分の使 命を利用して名声や他の個人的な利 益を得ようとはしませんでした。

「天から与えられなければ、人は何も受けることができない」(ヨハネ3・27)と、彼は自分の弟子たちに言い続けました。そして、彼の追随者が減っていくのを見て心配した弟子たちに対して、彼は続けました。「わたしは喜びで満たされている。

あの方は栄え、わたしは衰えねばならない」(ヨハネ3・29-30)。私たち

の使徒職と回心は神の業であり、私たちは卑しい協力者です。実りと季節の主は神です。聖アウグスティオスの言葉を借りれば、「ヨハネはこうです。しかし、主についてはこう言われます。『初めにことばがあった』(ヨハネ1・1)。ヨハネは過初た』(ラーですが、キリストは初めにあった永遠のみことばです」「EI」。

使徒としての私たちの人生でも、キ リストが大きくなり、私たちは小さ くならなければなりません。聖ホセ マリアが言ったように、そのために は深い謙虚さが必要です。「私は皆 さんが謙虚になる決意をしていると 確信しています。そうすれば、あな たは人生の多くの問題を避けること ができ、葉の茂った木のようになる でしょう。しかし、もし見せびらか すために葉や実を持っているとした ら、その実は中身がなく、重さも感 じられません。そのため、枝は上に 向かって伸びます。虚栄心で!対照 的に、果実が熟しているとき、しっよいるとき、前に言いとき、前に言いとき、前に記とれるとき、が良い古くて風味が良いを向きません。このように謙虚でしまいるように歌虚いしまいるよう。私はいつも、皆さんがしまいる。私たちの聖母にはいるという叫びを、私たちの聖にはいるといういな賛美としています」では、

[1] フランシスコ、World Youth Day Address in Poland,30 July 2016。

[2] 聖ホセマリア『知識の香』45番。

[3] 聖アウグスティヌス、説教289。

- [4] オリゲネス、Homilies on Saint Luke,4。
- [5] 聖ホセマリア、手紙4,21番。
- [6] 聖アウグスティヌス、説教293。
- [7] 聖ホセマリア、家族の集まりでのメモ、1972年12月27日。

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/mokusou-senreisha-sei-yohane-tanjyou/(2025/05/05)